

専任教員教育研究業績

平成 29年 4月 20日記入

氏名	ふりがな	所属学科	職 位	性別
富金原 光秀	ふきんばら みつひで	保育学科 通信教育課程	教授・准教授・講師・助教	男・女

小田原短期大学における担当科目名

造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ

学 歴

和暦(西暦)年 月	事 項	学位
平成 18年(2006)4月	横浜国立大学大学院教育学研究科芸術系教育修士課程入学	
平成 21年(2009)3月	横浜国立大学大学院教育学研究科芸術系教育修士課程修了	修士(教育学)

教 育 歴 ・ 職 歴

名 称	期 間	教育内容又は業務内容
語学学校入学 ロンドン芸術大学留学 ロンドンカレッジ オブ ファッション G-SHOUTH LONDON	平成 14年 5月～7月 平成 15年 9月～ 平成 16年 2月 平成 15年 4月～ 平成 16年 2月	ロンドン芸術大学留学 ロンドンカレッジ オブ ファッション フィンチリーのサロン勤務
学校法人山中学園	平成 16年 4月～ 平成 17年 3月	非常勤講師 色彩学
学校法人岩崎学園	平成 17年 4月～ 平成 22年 3月	専任講師 関係法規・制度 ファッションコーディネーター
学校法人小池学園	平成 22年 4月～ 平成 25年 3月	専任講師 関係法規・制度
学校法人篠原学園	平成 25年 4月～ 平成 27年 3月	専任講師
学校法人弘徳学園 豊岡短期大学	平成 25年 4月～ 平成 27年 3月	非常勤講師 教育原理 子ども学概論 子どもと造形 子どもと造形表現
学校法人弘徳学園 豊岡短期大学	平成 27年 4月～ 平成 28年 4月	特別招聘講師 子どもと造形Ⅰ・Ⅱ
学校法人弘徳学園 姫路大学	平成 26年 4月～ 平成 27年 3月	非常勤講師 図工科指導法 外国語科指導法
TIST 筑波研究学園専門学校	平成 27年 4月～現在	非常勤講師 教育原理 教育課程論 教育方法論 子どもと造形Ⅰ・Ⅱ 子どもと造形表現
学校法人敬心学園	平成 27年 9月～現在	非常勤講師 保育・教職基礎演習 保育課程論 保育実践演習
学校法人三幸学園 小田原短期大学	平成 27年 9月～ 平成 28年 3月	非常勤講師 図画工作(造形表現Ⅰ・Ⅱ)
学校法人三幸学園 小田原短期大学	平成 28年 4月～現在	保育学科通信教育課程特任講師

所 属 学 会 等

名 称	活動期間	活動内容(役職等の活動を含む)
日本色彩学会	平成 22年	
大学美術教育学会	平成 23年 9月	・大学美術教育学会宮城大会発表 ・美術科教育について講演
日本保育者養成教育学会	平成 28年	

社 会 活 動 等

名 称		活動期間	活 動 内 容	
色相環絵の具の開発 横浜国立大学共作		平成24年4月	・色相環絵の具 PCT 国際特許第 5565813 号	
福岡県教育センター		平成24年1月	・教育デザイン研究論文投稿	
担当教科目に関する資格・免許等				
名 称		取得年月	取 得 機 関	
		年 月		
研究実績に関する事項				
代表的な著書、 論文等の名称	単著共著 の別	発行又は 発表の年 月	発行所、発表雑誌又 は発表学会等の名 称	概 要
(著書) 1こどもと造形 I	共著	平成29年4月	学校法人弘徳学園 豊岡短期大学	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省認可通信教育テキスト 担当章 第2章：造形とそのプロセス 第3章：造形表現の基本と構成 第4章：色彩と生活 (コラム) ・文部科学省認可通信教育テキスト 担当章 第3章：造形活動の支援・環境づくり 第6章：自然の遊び 第7章：造形あそび 第8章：道具・用具及び材料の指導 第10章：保育・教育実習と実習指導案の書き方
2こどもと造形表現 I	共著	平成29年4月	学校法人弘徳学園 豊岡短期大学	
(学術論文) 1 色相環絵の具の 教材開発	共著	平成24年4月	教育デザイン研究・大 学 美 術 教 育 学 会	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の教材開発と学習教材として子どもの学びを通じての使用データを立証。既存の絵の具は横一列の配置となっている為、これらの属性を理解しがたいと仮説をたてた。色相環の絵の具を教材とすることで、色を空間的に認知するための学習となりうると推察した。 ・物の存在論的問題として<色彩の恒常性>という心理学的問題について補色を基盤として、絵画鑑賞・視覚心理・大脳生理学・脳科学等を通じて研究を試みる。子どもの知覚世界に通底する色彩環境への定位を身体的な働きであると仮定すれば、身体によって知覚し生かされる色彩を見出すことが可能となる。 ・乳幼児期の発達過程について、ヴィゴツキーの発達理論をたよりに異年齢児保育の重要性や、モノや道具を通じて生成する造形活動の拡張的移行について、事例により考察し、保育・教育現場での有効性を立証。 ・子どもの幸福度ランキングトップとなるオランダの教育制度やイエナプランの教育事情や方法について異年齢児教育を始め、イエナ式アクティブ・ラーニングといわれるオープンサークル、総合学習の場としてのワールドオリエンテーションについて考察する。
2 色彩の恒常性に関する研究	単著	平成21年3月	横浜国立大学論文集	
3 発達の最近接領域における保育・教育方法	単著	平成28年12月	学校法人弘徳学園 豊岡短期大学	
4 子どもの自律と協働を支えるオランダのイエナプラン教育とその方法について	単著	平成29年3月	小田原短期大学研究紀要	
(その他)				
その他 (表彰等)	ARTEO 色相環絵の具	・2014 日本文具大賞デザイン部門優秀賞受賞		